

第1回 日向市公共下水道 事業計画市民検討委員会

令和5年2月27日

【次第】

- ①開会
- ②主催者あいさつ
- ③本委員会の設立
- ④説明事項
- ⑤議事



げすいどう めぐりめぐって またあおう！
(令和4年度 下水道事業 推進標語)

日向市 上下水道局 下水道課

本委員会の開催予定について

第1回 (本日)	第2回～第3回 5月～7月予定	第4回(最終回) 7月～10月予定
① 日向市の下水道の現状と課題について ② 今後の方向性について	① 下水道事業変更計画素案の説明 ② 市民説明会の開催、及びパブリックコメントの実施について ③ その他	① 市民説明会等の結果報告 ② 市への提言素案の確認

【本日の説明内容】

- ①下水道の役割
- ②日向市の下水道事業の現状
- ③日向市の下水道の課題

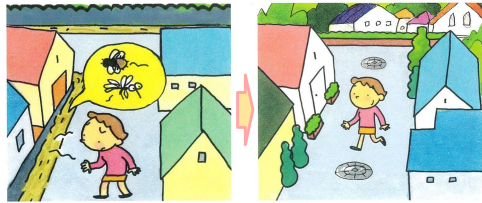
【本日の説明内容】

- ①下水道の役割
- ②日向市の下水道事業の現状
- ③日向市の下水道の課題

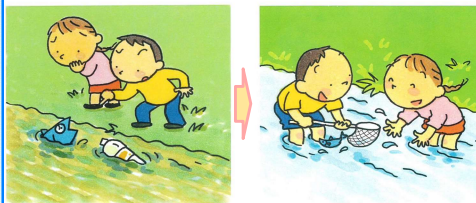
下水道の役割って何があるの？

普段は見えない下水道。
でも、見えないところで私たちの快適な生活を支えています。

①衛生環境の向上



②水質保全

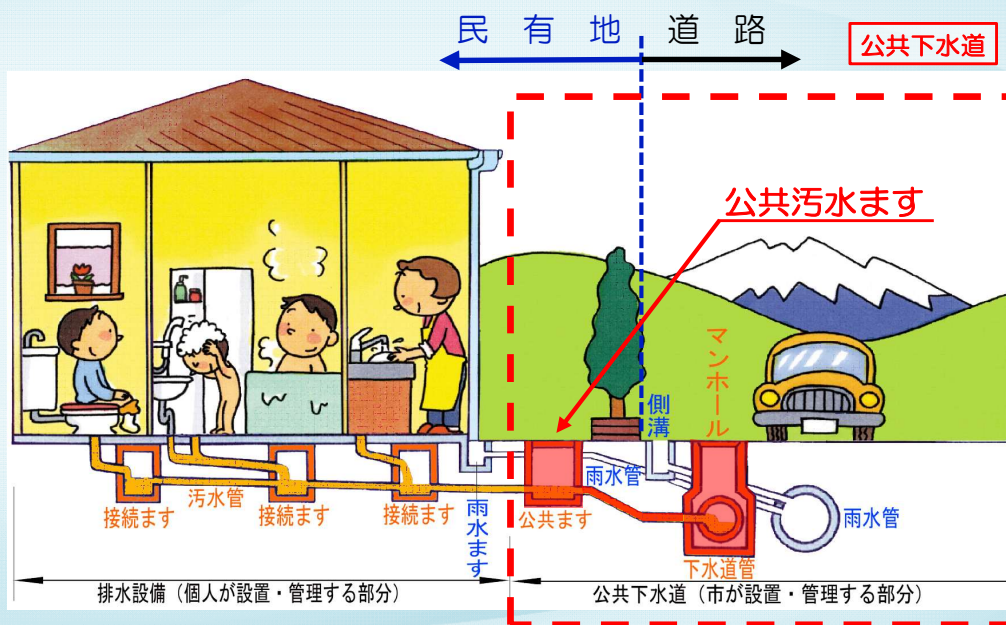


③浸水対策



下水道事業は、衛生的で
快適な生活環境の整備と、
河川や海の水質保全を目的
としておこなわれています。

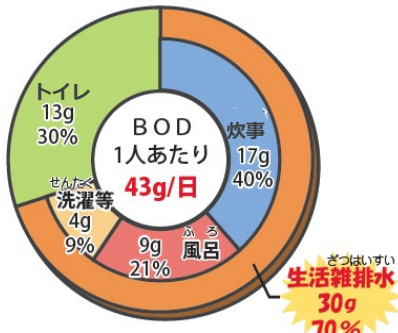
家庭の汚水が下水道管に流れるまで



私たちの生活は、どのくらい水を汚しているの？

河川等の水質汚濁は、私たちの生活から出る汚れた水が主な原因です。
中でも台所から出る汚れが最も多くなっています。

生活排水の中の汚れの割合



BOD：水の汚れを表す指標の一つで数値が大きいほど汚れていることを表します。

水を汚してしまうと、その水をきれいにするために多くの水が必要になります。

これだけのものを流したら、魚が住める水質にするのに、たくさんの水が必要になります。



浄化センターで処理された汚水



【本日の説明内容】

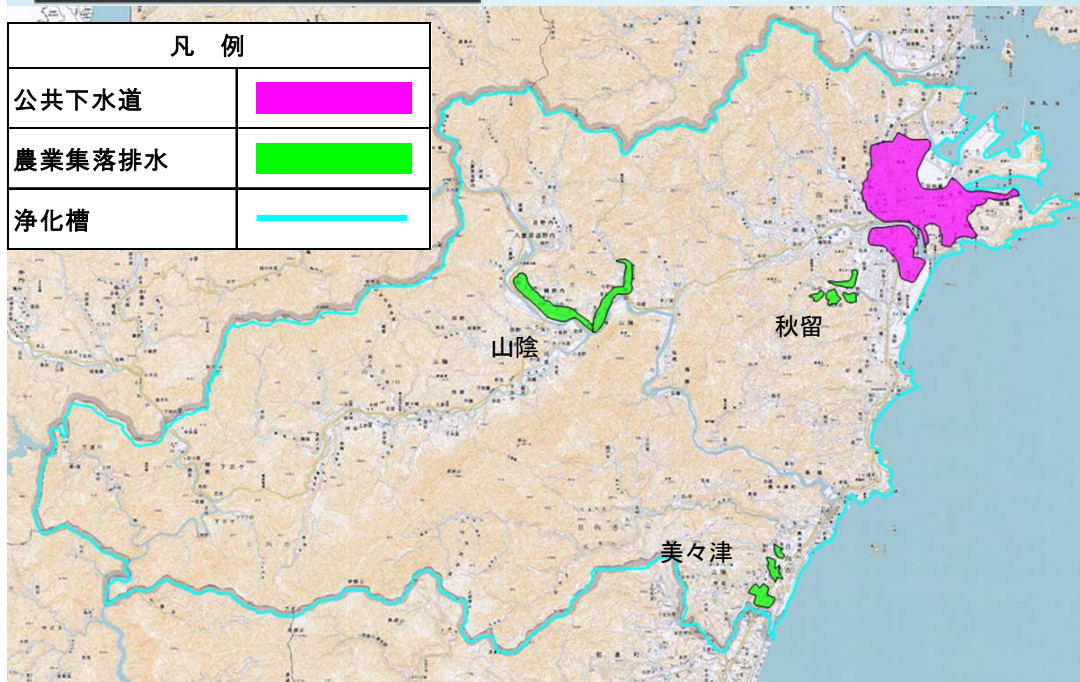
①下水道の役割

②日向市の下水道事業の現状

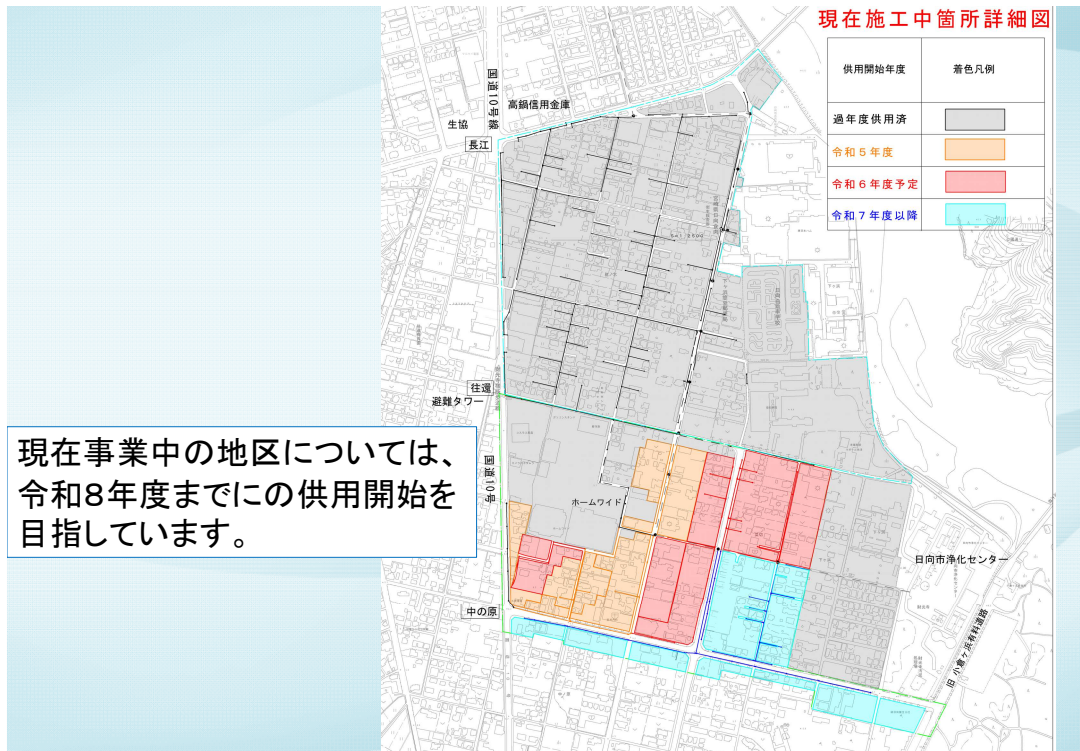
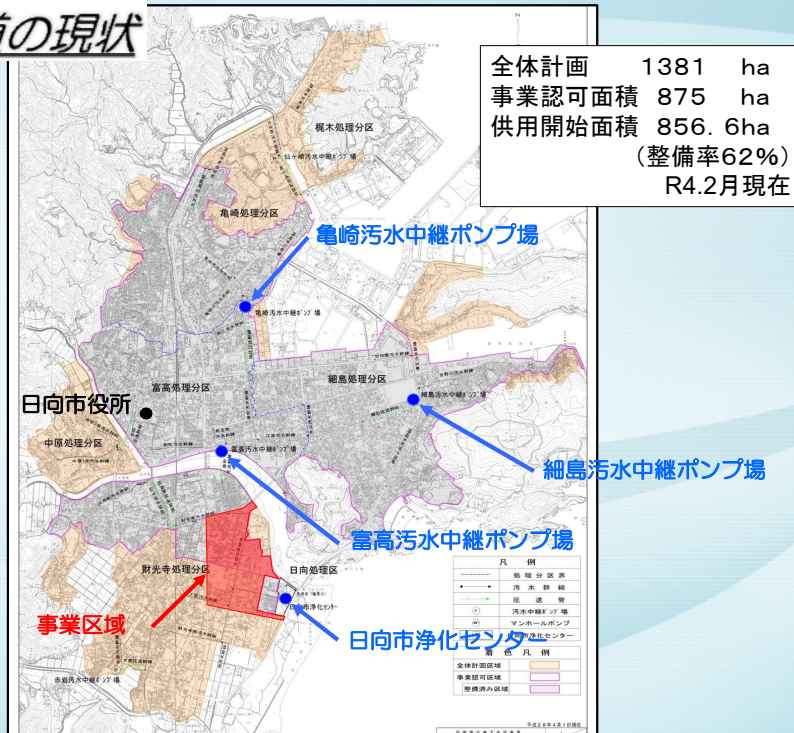
③日向市の下水道の課題

市内の汚水処理の現状

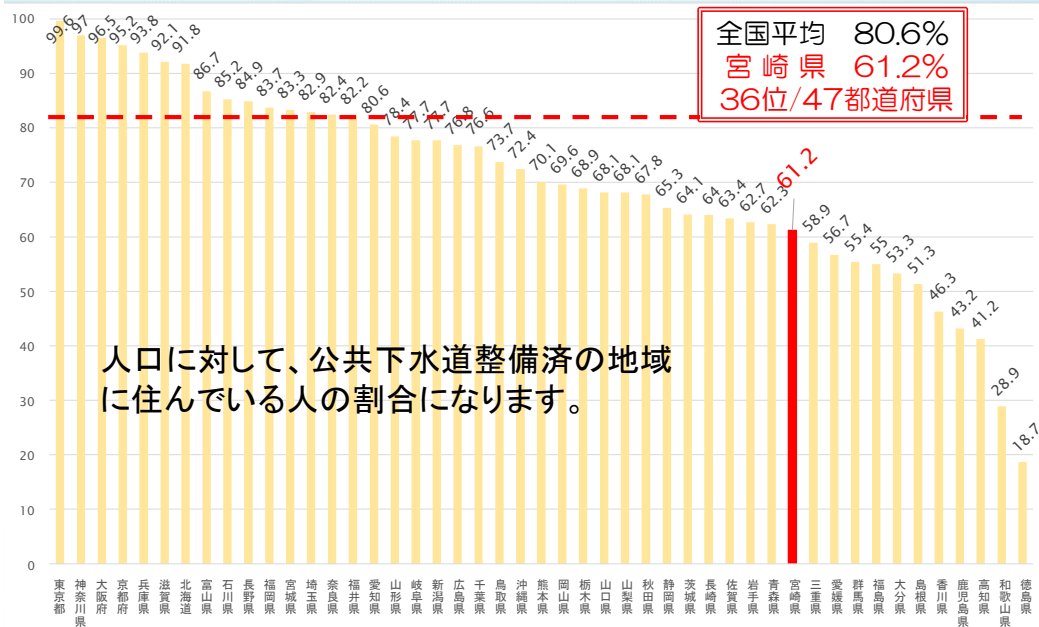
凡 例	
公共下水道	
農業集落排水	
浄化槽	



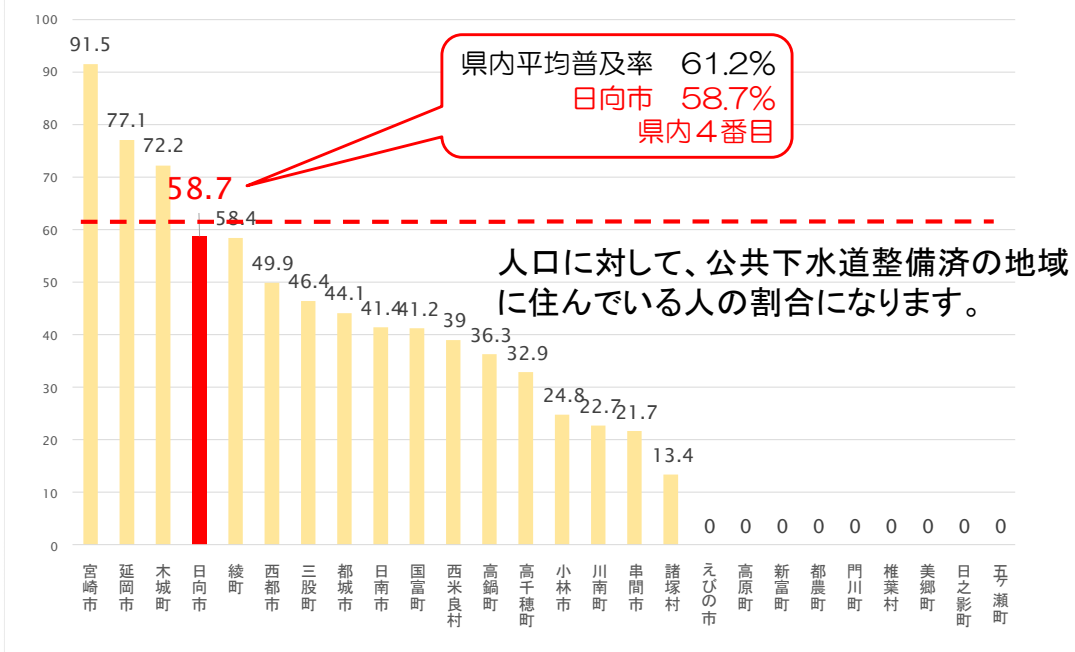
公共下水道の現状



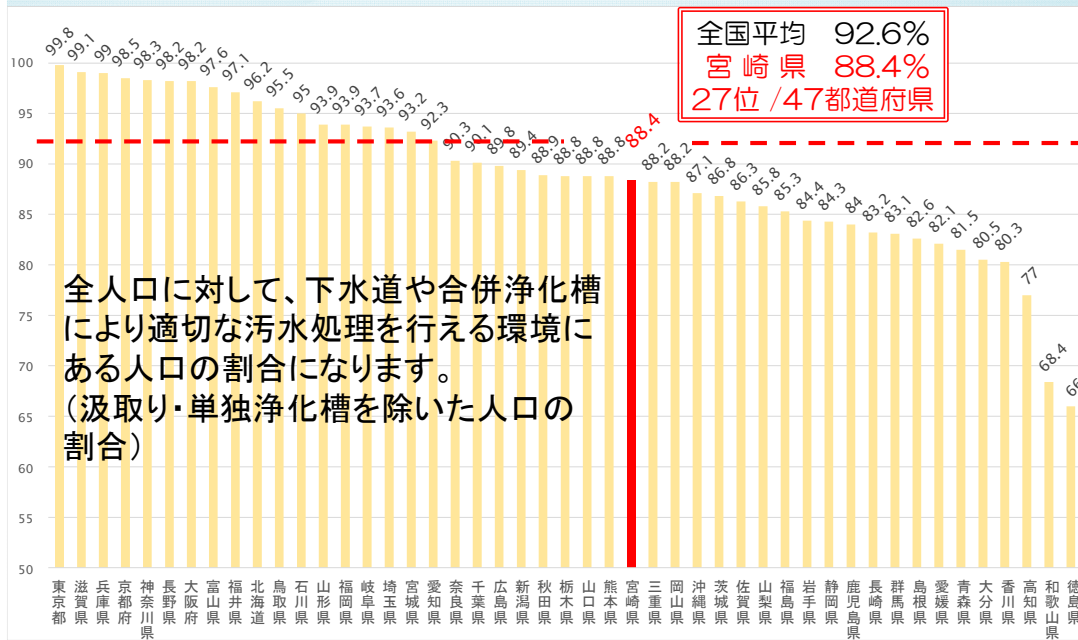
全国の下水道処理人口普及率（令和3年度末）



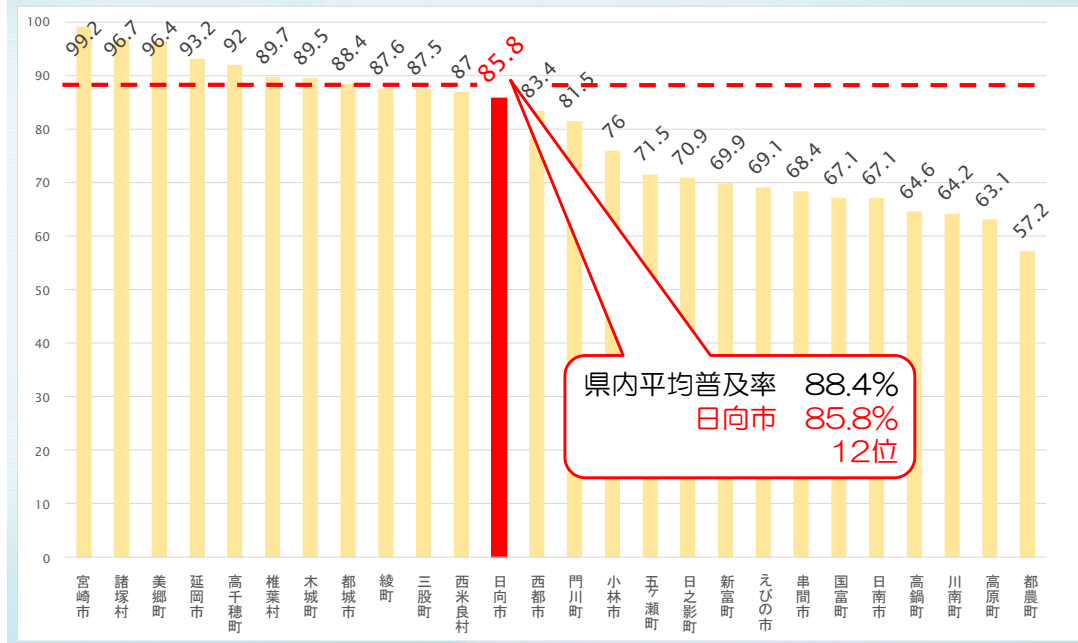
県内の下水道処理人口普及率（令和3年度末）



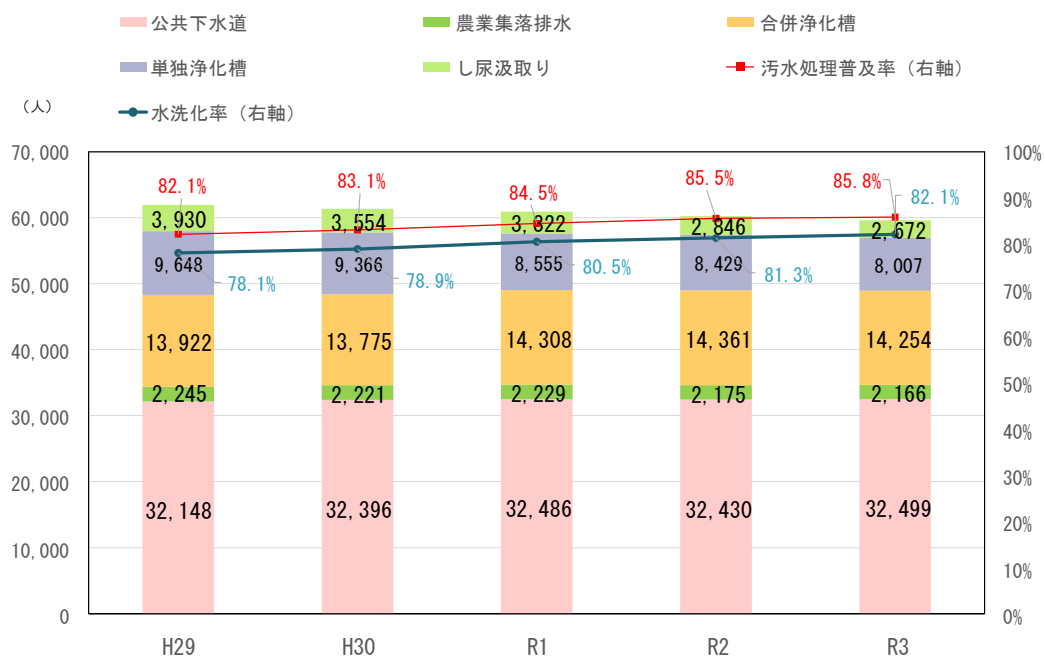
全国の汚水処理普及率（令和3年度末）



県内の汚水処理普及率（令和3年度末）



本市の汚水処理の内訳



【本日の説明内容】

①下水道の役割

②日向市の下水道事業の現状

③日向市の下水道の課題

現在の下水道の課題は？

日向市議会からの意見

令和4年3月第1回定例会 本会議において
産業建設水道常任委員会から付言

「下水道事業会計について、本市の将来人口や財源の推移、合併処理浄化槽の普及促進等を勘案しながら、**計画エリアの総合的な見直しに努めること。**」

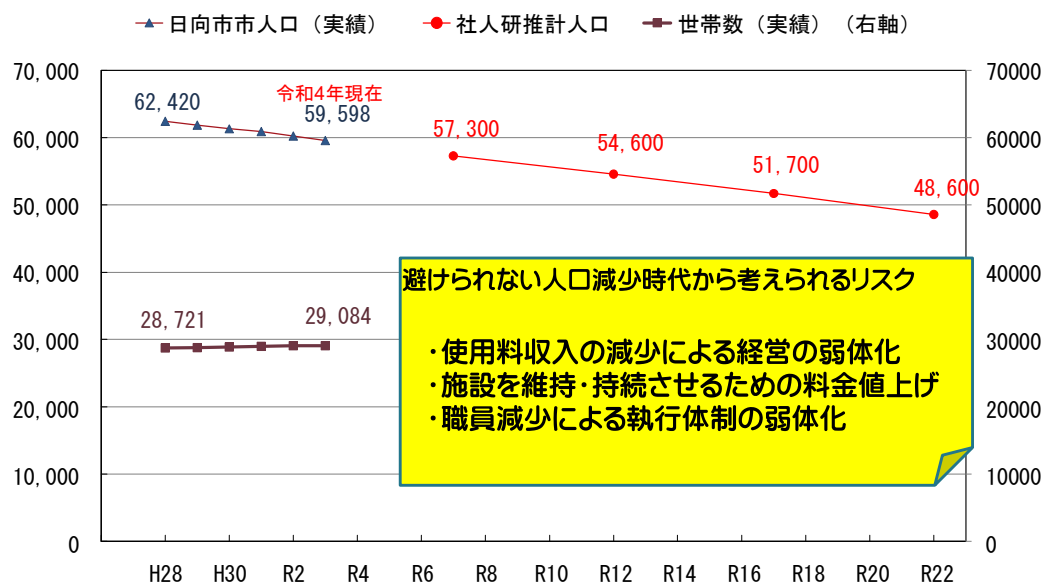
現在の下水道が抱えるの課題は？

持続可能な下水道経営のためのソース

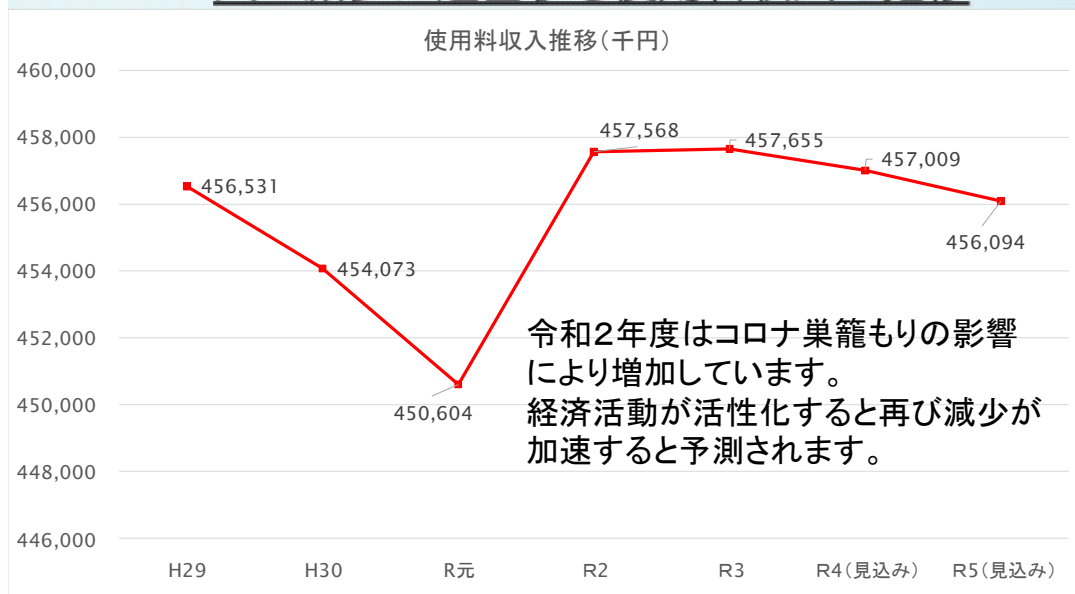
ヒト・モノ・カネ

の今後の予測

課題① ヒト 本市人口の実績と予測



課題① ヒト 人口減少に起因する使用料収入の推移



課題②モノ

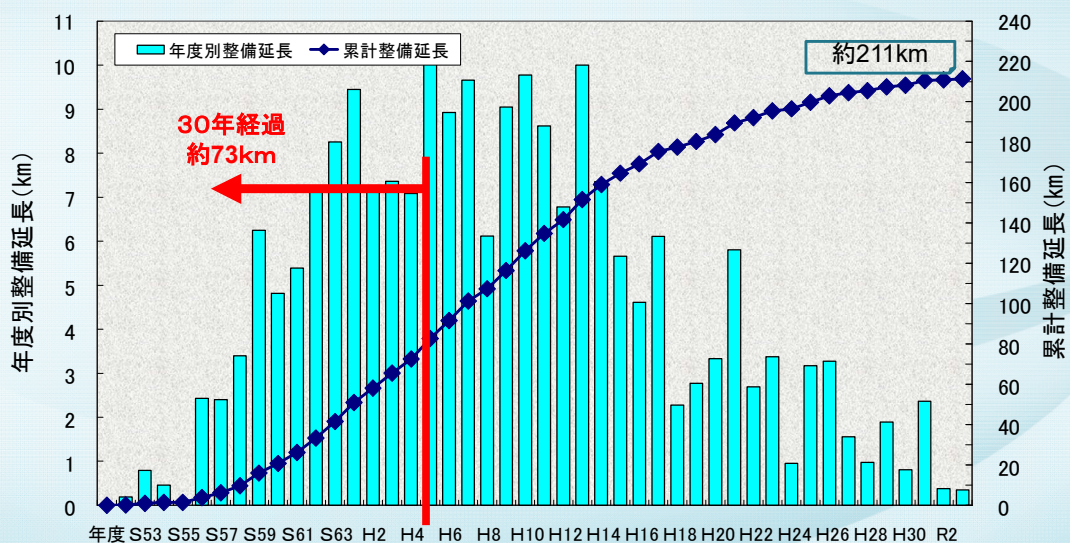
下水道施設の老朽化

- ・昭和48年 基本計画作成（第2次ベビーブーム）
- ・昭和49年 事業着手（49年前）
- ・昭和62年 一部供用開始（36年前）
- ・令和3年度までの建設改良総投資額 約376億円
- ・施設老朽化（36年経過）
 - ⇒ 現環境を持続するための維持補修費及び更新費の増大。
- ・節水機器の普及
 - ⇒ 排出污水の高濃度化
- ・国の方針（令和8年度までの汚水処理施設概成）
 - ⇒ 令和9年度以降、国庫補助金の配分減少を想定。
現在まで建設費の約38%を国庫補助金に頼っていますので、事業費の財源確保が厳しくなります。

課題②モノ

下水道施設の老朽化

■下水道汚水管路の年度別整備延長



一般的に30年を経過すると道路陥没等の事故が増えると言われています。

課題②モノ

下水道施設の老朽化

■下水道管きょ



管の腐食や鉄筋の露出が見られており、管きょの経年劣化が進んでいる。

課題②モノ

下水道施設の老朽化

■日向市浄化センター(躯体)



■日向市浄化センター(設備)



ひび割れや故障等、施設の経年劣化が進んでおり、更新や長寿命化工事が必要な箇所が見られる。

課題③力ネ

下水道全体事業費 : 約 4 9 3 億円 (H27試算)
 (全体計画面積) : 1, 3 8 1 h a
 これまでの投資額 : 約 3 7 6 億円
 (供用開始面積) : 8 5 6. 6 h a (R4.2現在)
 残事業 : 約 1 1 7 億円



面積ベースの進捗率 : 62%

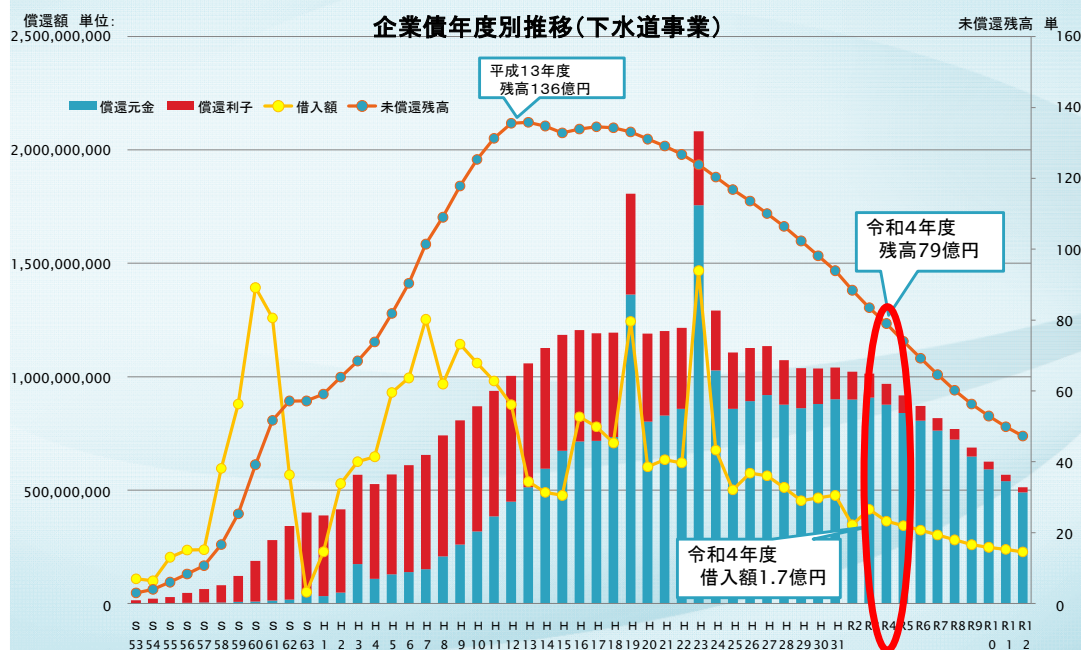
事業費ベースの進捗率:76%

全体完成予定年度 約78年後

(年間1.5億円投資できた場合)

※令和5年度に予算要求では、建設改良費約4億8千万円としているが、このうち未普及対策(新規地区整備分)は1億4千7百万円であり、残りはほぼ老朽化対策の予算となっています。

課題③力ネ



課題③カネ

多額の一般会計からの繰入金



費用負担の公平性が保たれていない。

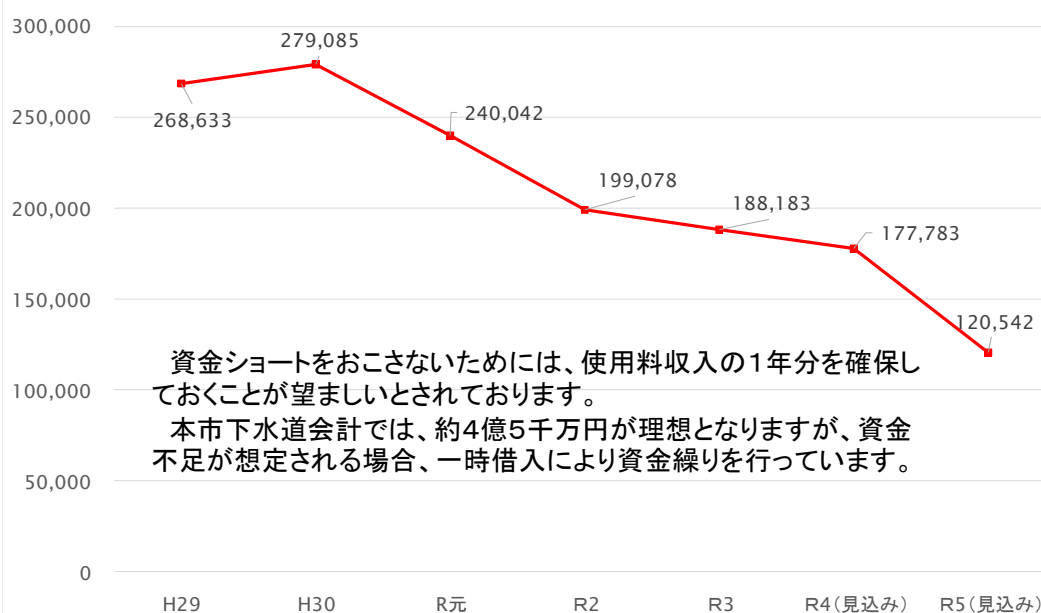
公共水域の水質保全という目的は確かにあるが、整備費用と維持管理費を受益者が負担することが本来の姿。

年度	繰入金	基準内繰入金	基準外繰入金
令和4年度	650,000千円	決算時に算定予定	
令和3年度	620,000千円	330,336千円	289,664千円
令和2年度	600,000千円	339,725千円	260,275千円
令和元年度	600,000千円	360,987千円	239,013千円
平成30年度	596,000千円	358,024千円	237,976千円

※基準内繰入金 適切な使用料収入でまかなえない経費であり、雨水処理に要する経費や公共水域の水質保全に資するための経費等、様々な基準により算定される経費
 ※基準外繰入金 基準内繰入金以外の経費

課題③カネ

キャッシュフロー（保有現金推移）（千円）



課題③カネ

令和3年度実績

順位	団体名	使用料単価	直近の使用料改定時期
①	日南市	158.1円	令和元年10月
②	串間市	150.0円	平成16年3月
③	都城市	146.6円	平成26年4月
④	延岡市	144.4円	平成24年4月
⑤	小林市	134.2円	平成12年9月
⑥	西都市	134.1円	平成14年9月
⑦	宮崎市	133.0円	平成24年10月
⑧	日向市	126.5円	昭和62年10月

※使用料単価：使用料収入÷年間有収水量であり、1m3当りの使用料収入
国からは、150円以上が望ましいとされている。

下水道を取り巻く課題と リスクのまとめ

ヒト	モノ	カネ
課題 ・人口減少時代	・施設の老朽化 ・節水機器の普及	・莫大な残事業費 ・負担公平性の不均衡 ・物価上昇（燃料費等）
リスク ・使用料収入の減少 ・執行体制の弱体化	・施設更新費用の増大 ・汚水の高濃度化 （処理コストの増）	・事業の長期化 ・資金ショート

本委員会への提案

【下水道事業計画の方向性】（理念）

- ・日向市の身の丈にあった持続可能な生活排水対策への転換
- ・次世代を担う子どもたちへ責任ある計画への転換

【具体的な施策の提案】

- ①公共下水道事業全体計画区域の
縮小見直し
- ②代替施策としての合併浄化槽への
転換促進

※使用料改定については、別途審議会での審議が必要となりますので、本委員会では取り扱いません。

ご清聴ありがとう
ございました

